

公益社団法人 私立大学情報教育協会
平成27年度 第2回事業普及委員会 議事録

I. 日 時 平成27年9月19日(土) 10:30~12:30
場 所 公益社団法人 私立大学情報教育協会 事務局

II. 出席者 今泉委員長、西浦委員、木村委員、宮脇委員
(事務局 井端事務局長、平田職員)

III. 検討事項

機関誌「大学教育と情報」2015年度 No.2の掲載内容の変更と原稿内容の確認を行った他、No.3、No.4の掲載内容の企画を行った。

1. 2015年度 No.2「人材育成のための授業紹介」原稿依頼先の変更

人材育成のための授業紹介について、前回の委員会では環境をテーマに環境情報、エコロジー、環境と経済などの分野における事例を予定していたが、ICT活用の面で機関誌で取り上げるべき事例がなかったため、急遽、依頼先を変更することにした。

そこで、人材育成は、主体的かつ多面的な問題解決力を育成することがねらいとされるので、ICT活用主体ではなく、問題解決力育成の視点からICTも活用している事例を取り上げるべきであることから、東海大学教育研究所所長代理、理学部准教授の及川義道氏より自主性をはぐくむためのLMS導入事例を紹介いただくことと、名古屋学院大学教務部長、経済学部教授の児島完二氏より、経済学の抽象的な概念を動機付けをもって学修させるため、自分で得た知識から問題を作成させる学部全体の取り組みを事例を紹介いただくことを事務局より提案し了承された。

2. 「教育・学修支援の取り組み」について

(1) 2015年度 No.2の依頼先確認

これまでの情報センター部門では教育支援について執筆できなくなっている。アクティブ・ラーニングのような対話学修を中心に行っていくためには、シラバスの可視化、質保証の公表など教学マネジメントの仕組みが組織としてできていないと、これからの大学教育は成り立たないことから、それらに取り組んでいる玉川大学にNo.2の原稿を依頼したことの報告が事務局よりあった。

なお、玉川大学には、学修成果の可視化、教員にアクティブ・ラーニングのハンドブック配布、図書館、ラーニングコモンズでのTAの配置など、建物でなく教育学修支援をスペースとして考えた背景を紹介してもらおう。また、ポートフォリオはティーチングポートフォリオも実施しており、教学マネジメントの確立について実施内容だけでなく、将来計画など、必要な視点を紹介してもらおうことを確認した。

(2) 今後の依頼内容について

依頼先を検討していく中で、教務が中心となって教学マネジメントを行っている大学を中心に

今後は依頼していくことの必要性を事務局より提案し、了承を得られた。そこで、今後、本企画では、人材育成や学修支援の事例として、アクティブ・ラーニング実現のための教育やその支援、教学マネジメント、ICT活用に関する取り組み事例について紹介いただくことを確認した。

3. 2015年度 No.3 の特集企画

各大学では質的転換のために教学マネジメントの仕組みが欠かせないため、No.3 では教学マネジメントへの試みについて各大学から紹介いただくことを事務局より提案し、了承された。具体的には、以下のような内容が考えられるが、アクティブ・ラーニングの取り組み以外に、方向性だけでもよいので、教学マネジメントやFDも紹介してもらうこととし、分量は、1件3ページ程度とすることにした。

なお、人材育成のための授業紹介は紙幅や特集との内容重複の可能性があるので、No.3 は掲載しないことも確認した。

4. 2015年度 No.4 の特集企画

No.4 の特集は、前回の委員会では「地域と連携したアクティブ・ラーニング」などを企画していたが、現時点ではまだ事例があまりない可能性が高いので、別のテーマに変更することにした。

No.4 は、職員にとって関心のあるテーマとすることになっていることから、職員の立場からの教学マネジメントを取り上げてはどうかとの事務局より提案があり、次回委員会で継続検討することにした。なお、職員の視点からの教学マネジメントとしては、以下のようなものがあげられた。

- ① シラバスの可視化（学士力がシラバスにどう明確化され、教職員、学生に共有化されているか）
- ② シラバスの内容が適切であるのかどうか組織としてチェックする仕組み。
金沢工業大学では、学科主任がチェックし、また教員同士でもチェックするなど、相互点検が行われている。
- ③ 成績の厳格化。
学修成果、到達度の可視化。ポートフォリオを活用した学生の達成度をオープン化する仕組みづくり。
- ④ 教員のFDの全学的な取り組み。

4. 次回委員会

今回は日程調整の上、開催日時を決定することにし、No.3 の原稿確認、No.4 の特集および人材育成のための授業紹介の企画を主に行うこととした。

以上